

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）	34,375	35,834	36,994	人	↑
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したものの（千葉県健康福祉部）※値はH29年、H30年、R1のもの	1.62(※)	1.67(※)	1.59(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	51.6	57.7	60.2	%	↑

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年3月1日におおたかの森児童センターが開設しました。</li> <li>南流山児童センターは、令和元年度から令和2年度にかけて、基本設計及び実施設計が完了しました。また、令和2年度から本体工事に着手しました。</li> <li>認可保育所は、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、12箇所を整備し、982名（定員変更含む）の定員増を図りました。また、小規模保育事業所は、おおたかの森地区に1箇所、東部地区に1箇所、併せて2箇所を整備し、38名の定員増を図りました。併せて1,020名の定員増を図り、待機児童を解消しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所整備は、認可保育所13箇所、小規模保育事業所は2箇所整備する予定です。</li> <li>南流山児童センターは、引き続き建設工事に取り組み、令和4年度の開設を目指します。</li> </ul>

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課 健康増進課 関連課：なし

ファミリーサポートセンター支援事業		ひとり親家庭等の就労の支援および育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	拡充	17,643		17,208	0		18,458	11,800	6,658
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標	
令和2年度の実績と評価・改善点		令和3年度の現状・課題・取組み							
ひとり親家庭及び多子養育者に対し、育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成した。		令和3年度から、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者に加えて、未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも対象者を拡大し、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成する。							

児童館・児童センター整備事業		児童の健全な遊びの場を提供するため、令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に、子育て支援施設（児童センター及び子育て世代活動支援センター）を整備します。なお、同施設に一体の複合施設として地域図書館を整備します。 令和3年度 建設工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	526,612		282,734	14,026		412,000	350,995	61,005
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標	
おおたかの森児童センター整備工事進捗率(%)	-	100	-						
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)	0	1	83						
令和2年度の実績と評価・改善点		令和3年度の現状・課題・取組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年3月1日におおたかの森児童センターが開設しました。</li> <li>南流山児童センターは、令和元年度から令和2年度にかけて、基本設計及び実施設計が完了しました。また、令和2年度から本体工事に着手しました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>南流山児童センターは、引き続き建設工事に取り組み、令和4年度の開設を目指します。</li> </ul>							

妊娠・出産・子育てサポート事業		すべての妊産婦が安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困りごとについての相談に応じ、解決に向けた支援をします。令和3年度からは、「産前産後サポート事業」を加え、多胎児のパパママを対象に妊娠からの情報提供を始め、多胎児育児経験者との交流をすることにより、多胎ママの負担感や孤立感の解消を図ります。また、支援者のいない妊婦を対象に仲間づくりや、不安解消を目的としたグループの定期的な開催を市内の助産院に委託し、実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	拡充	39,077		32,187	57,554		40,334	24,579	15,755
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標	
妊婦面談率(%)	98.6	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		95.3	96.0	96.2	
乳児家庭全戸訪問実施率(%)	94.4	95.5	100	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		81.4	84.3	85.8	
令和2年度の実績と評価・改善点		令和3年度の現状・課題・取組み							
<p>(取組) 母子健康手帳交付窓口を専門職の常駐する窓口完全に集約し、交付窓口へ来所が困難な妊婦に対しては、訪問による交付を実施しました。</p> <p>(評価) 母子健康手帳交付時に専門職による全員の妊婦へ面談が可能となり、妊娠早期の時点での母子保健、育児に関する情報の提供、相談窓口の案内が可能となりました。妊娠中の支援として、個別支援だけでなく、両親学級以外の集団における支援も必要と考えられます。また、多胎児への早期の支援も求められています。</p> <p>(改善点) 流山市へ転入される妊婦に対しても、交付時同様全員の妊婦に情報提供が行えるよう、市民課出張所の協力を得て、妊婦健診受診券の交換窓口を専門職が常駐する窓口を集約します。また、支援サービスの充実を図る必要があります。</p>		<p>(現状と課題) 専門職による母子健康手帳の交付が可能となり、妊娠早期に不安や困りごとに応じることが可能となったため、解決に向けた支援のさらなる充実に向けたニーズの把握が課題です。</p> <p>(取組内容) 「産前産後サポート事業」を開始します。身近に相談者のいない妊婦が、助産院に集まり、妊娠出産子育てに関する不安を相談したり、地域の中でのつながりを持ってよう支援します。また、多胎児を妊娠中の妊婦を対象にした、両親学級を開始します。多胎児の育児経験者の協力を得ながら、妊娠中から、仲間づくりや、多胎児の育児に関する情報提供を行い不安や孤立感の軽減を図ります。これらの事業は、妊産婦の支援の経験が豊富な助産院に委託して実施します。</p>							

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



保育サービスの充実 主管課: 子ども家庭課、保育課 関連課: なし

<b>私立保育所等運営補助事業</b>		待機児童の解消を目指し、保育所整備の推進と合わせた保育士の確保や、保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等が私立保育所等の運営に要する経費の一部に対し、補助金を交付します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
保育課	拡充	1,681,132			1,600,004	8,595	2,028,049	503,288	1,524,761
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
補助施設数(件)	67	72	87	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0	0
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
私立保育所等数72か所に対し、16事業の補助を実施しました。 私立保育所等が障害児を複数受け入れている場合や発達に気になる児童を預かった場合に補助金を交付し、園児の受け入れ体制の拡充を図りました。 小規模保育所を卒園する児童の受け入れを積極的に行う私立保育所等に補助金を交付し、卒園児の受け入れの確保を図りました。 ICT化を行うためのシステム導入した私立保育所等に補助金を交付し、保育士等の負担軽減を図りました。 さらなる保育士の業務負担の軽減及び離職防止を図るための補助制度を検討し、令和3年度当初予算に計上しました。					令和3年度から、保育士の業務負担の軽減及び離職防止を図るために、保育士の補助を行う者を雇い上げた場合の一部を補助し、保育士の確保を行います。 保育所整備に合わせて、私立保育所等が安定的に運営できるよう補助制度について検証します。				

<b>私立保育所整備補助事業</b>		待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	1,778,310			1,291,288	14,026	1,024,082	833,005	191,077
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
整備箇所数(か所)	10	12	13	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0	0
整備により増加した定員数(人)	727	982	1,064						
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
・子育て世帯が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区を中心に、認可保育所12箇所を整備し、982名の定員増(定員変更含む)を図った結果、待機児童が解消されました。 ・今後も保育需要に対応するため、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、認可保育所の整備を進めていく必要があります。					・保育需要に対応するため、子育て世帯が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区を中心に、引き続き認可保育所の整備を進めていく必要があります。 ・今年度は、認可保育所を13箇所整備する予定であり、引き続き待機児童ゼロを目指します。				

<b>送迎保育ステーション事業</b>		流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
保育課	継続	99,716			99,716	1,754	101,209	49,364	51,845
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)		45,876	12,236	20,000	0
送迎バスの台数(台)	8	8	8	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0	0
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消を図りました。 (評価) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実績は例年と比べて減少しましたが、感染拡大防止に努めながら本事業を実施し、保育需要に対応するとともに保護者の送迎における負担軽減を図りました。 (改善点) 新型コロナウイルス感染症対策及び速やかな送迎を行うためルートを見直し、保護者の送迎における負担軽減に努めていきます。					(現状と課題) 令和3年4月1日に新園が14園開園したことで、待機児童については減少しましたが、引き続き感染拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減が課題となります。 (令和3年度の取組内容) 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。				

<b>小規模保育事業所整備補助事業</b>		多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、市内に定員19名以内の小規模保育事業所を整備する事業者に対して、費用の一部を補助します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	53,140			52,500	14,026	53,140	46,666	6,474
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
整備箇所数(か所)	2	2	2	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0	0
整備により増加した定員数(人)	37	38	38						
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
・おおたかの森地区に1箇所、東部地区に1箇所、併せて2箇所を整備し、38名の定員増を図ったことにより、0歳児～2歳児までの待機児童解消につながりました。 ・今後も0歳児～2歳児における保育需要に対応するため、おおたかの森地区を中心に、小規模保育所の整備を進めていく必要があります。					・0歳児～2歳児における保育需要に対応するため、おおたかの森地区を中心に、引き続き小規模保育事業所の整備を進めていく必要があります。 ・今年度は、小規模保育事業所を2箇所整備し、引き続き待機児童数ゼロを目指します。				

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課 関連課：なし

病児保育事業		保育所等に通所中の児童が、病氣中・病氣回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。令和3年度は、「病児・病後児対応型」を3箇所、「病後児対応型」を1箇所で実施します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
保育課	継続	64,263			64,193	1,403	67,575	21,346	46,229
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
病児及び病後児保育実施園数(園)		3	4	4	利用者数(年度ごと延人数)(人)		436	19	200
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>(取組内容)</p> <p>平成16年4月1日に「わらしこ保育園」で病後児対応型、平成29年4月1日から「オハナゆめキッズハウス」で病児・病後児対応型、平成30年1月4日から「けやきの森保育園西初石園」で病児・病後児対応型、令和2年4月1日から「オハナゆめ保育園」で病児・病後児対応型を実施しました。</p> <p>(評価)</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「病児・病後児」の預かりを停止しており、外傷性の怪我のみの受入としていたため、実績が落ち込んでいました。</p> <p>(改善点)</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行下でも成立する事業展開を目指します。感染症の終息後を見据えて、利用者の利便性向上を目指します。</p>					<p>感染症流行下でも成立する事業にするため、安全を確保したうえで「病児・病後児」の預かり再開等を検討していきたいと考えています。また、利用者の利便性向上のために、令和3年4月より従来は紙のみで手続きを行っていた事前登録を電子申請でも登録可能にしました。また、従来は電話のみで行っていた予約受付をWEBでも予約可能にし利便性の向上に努めていきます。</p>				

学童クラブの充実 主管課：教育総務課、学校施設課 関連課：なし

学童保育運営事業		学童クラブ運営に係る消耗品や備品の整備、障害児受け入れに伴う業務、放課後児童支援員の処遇改善業務委託等を行います。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	拡充	93,830			74,988	14,026	110,537	59,835	50,702
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
研修開催件数(件)		2	1	2	学童クラブの延べ利用人数(人)		25,440	26,186	30,000
					放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		20,404	18,101	20,000
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>令和2年度は学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催したほか、処遇改善のため、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行っています。さらに、学童クラブの安心・安全のため、順次防犯カメラを設置しています。</p>					<p>令和3年度においても、引き続き学童クラブ支援員等を対象に研修を実施するほか、処遇改善のための費用を支払います。学童クラブの防犯カメラについても、新たに設置を予定しています。</p>				

学童クラブ施設整備事業		児童数の増加に対応するため、新たな学童クラブを創設します。令和3年度：(仮称)小山小学校区第5学童クラブ創設							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	拡充	482,742			541,309	12,911	208,455	166,268	42,187
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学童クラブの整備後の定員数(人)		2,540	3,080	3,240	待機児童数(3月末)(人)		6	0	0
学童クラブの整備後の施設数(施設)		33	36	37					
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>令和2年度においては、元年度から整備を行っている八木北小学校区、おおぐろの森小学校区のほか、南流山小学校区の整備を行いました。今回、整備した小学校区においては、定員の増加により高学年も含め、入所希望者全員を受け入れることができました。また、(仮称)小山小学校区第5学童クラブの整備を引き続き行います。今後も児童推計を踏まえた計画的な施設の整備を行う必要があります。</p>					<p>令和2年度から行っている(仮称)小山小学校区第5学童クラブについて、令和4年4月の開所を目指し、整備します。また、老朽化している流山小学校区第1おおぐろ学童クラブのガスエアコンを更新します。</p>				

民設学童クラブ運営委託事業		児童数の増加に対応するため、放課後児童育成事業の届出を行い、学童クラブを運営している民設民営の学童クラブに対し運営業務を委託します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	継続	17,300			17,300	1,403	0	0	0
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
運営委託単位数(単位)		2	2	-	待機児童数(3月末)(人)		6	0	-
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>小山小学校区で委託している民設学童クラブについて、令和2年度当初は定員80人ところ、83人でスタートしました。運営法人から撤退の意思表示があり、令和2年度をもって閉所することとなりました。</p>					<p>前年度で終了のため記載なし</p>				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



養育環境への配慮

主管課：子ども家庭課

関連課：児童発達支援センター

要保護児童対策事業		要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	4,672			4,082	59,849	6,783	2,816	3,967
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
安全確認件数(%)		96.3	97.8	97.0	児童虐待による死亡児童数(人)		0	0	0
研修開催回数(回)		1	1	1	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		-	93	95
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の対策を取りつつ、要保護児童対策地域協議会、個別支援会議等開催し、個々のケースに対して適切な支援ができるよう関係機関と情報共有、役割分担を市ながら連携して支援に努めました。</li> <li>・ホームページにて児童虐待やDVについて、説明や相談先をわかりやすく掲載、外部リンクを張り付ける等工夫しました。</li> <li>・児童相談所等をはじめ、子ども家庭課の心理士など専門的なアドバイスを受けながら適切な支援になるよう努めました。</li> <li>・コロナウイルス感染症対策のため、中止になる研修もありましたが、オンライン研修を含め、可能な限り研修に参加し、職員の質の向上を図ります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待や育児相談の件数は年々増加しており相談の背景は複雑多岐にわたるため、子どもの安全確保と保護者への支援実施には様々な機関との連携が不可欠です。</li> <li>・子どもや保護者と関りのある関係機関・団体に本事業の認知度を高め、より迅速・適切に個々のケースに対応していく必要があります。</li> <li>・研修会参加等により職員の相談支援技術の向上を図るとともに、地域での子どもの見守りや支援が適切におこなわれるよう関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等をおこないます。</li> </ul>				

ひとり親家庭等生活向上事業		子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	拡充	33,896			20,564	14,026	55,187	0	55,187
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
利用者数(人)		34	57	128	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		70	63	75
協力塾数(件)		24	34	40	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		78	80	80
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
ひとり親家庭及び生活保護受給者世帯の中学校3年生を対象に、子どもが学習塾へ通えるように支援した。令和2年度は、児童扶養手当の現況届の際に、直接、学習支援の案内を行った。					令和3年度から、ひとり親家庭及び生活保護受給者世帯の対象者を、中学校3年生から、中学校2年生及び3年生に拡大し、子どもが学習塾へ通えるように支援する。令和2年度に引き続き、児童扶養手当の現況届の際に、学習支援の案内を行っていく。				

青少年の健全育成の促進

主管課：生涯学習課

関連課：なし

青少年相談事業		青少年やその保護者が一人で悩むことがないように、青少年専門相談員による電話、訪問及び相談室での相談を充実します。また、ネットパトロールを実施し、青少年がSNS等ネット上でのトラブルに巻き込まれないよう見守りをします。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
生涯学習課	継続	7,239			6,082	3,498	4,906	0	4,906
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
相談件数(件)		229	81	70					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者が相談しやすい雰囲気づくりや、言葉かけ等に配慮しながら適切なアドバイスや、相談内容によっては関係諸機関を紹介するなど、相談活動の充実に努めました。</li> <li>・進路や将来に対する不安や焦り、親子関係の悩みなどを持つ青少年やその保護者からの相談が多かったことから、相談内容に柔軟に対応できるよう、研修会等への積極的な参加に努めました。</li> <li>・ネットパトロールを実施し、問題のある書き込み等の早期発見に努めました。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き広報誌等を通して、相談事務を広く周知し、市民により多くの相談の機会を提供できるよう努めます。</li> <li>・相談者の相談に適切に対応することで、よりよく解決できるよう支援します。また、継続相談では、必要に応じて学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。</li> <li>・引き続きネットパトロールを実施し、発見した場合は、学校や関係機関への速やかな情報提供に努めます。</li> </ul>				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	62.6 66.2	68.5 65.3	令和3年秋頃 公表予定	%	全国/ 県平均を 上回る
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	10,863 4,344	11,317 4,435	11,775 4,605	人	—
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）（2月）※小学校、中学校	2,675 545	3,003 466	3,037 315	件	↓

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<p>（取組内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南流山地区及びおおたかの森地区における新設小学校の通学区域について、南流山中学校の移転先に関し市民からの御意見が多く、不透明であったため、審議等は行っていません。</li> <li>・児童生徒の情報活用能力を図るため、ICT教育環境の整備に努めます。</li> </ul> <p>（評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南流山地区及びおおたかの森地区における新設小学校の通学区域については、令和3年度中に実施します。</li> <li>・市内全児童生徒に一人一台のタブレットを配備し、校内におけるネットワーク環境を整えました。</li> </ul>	<p>（現状）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T×沿線地域である中部、南部地域の児童生徒数が増加傾向となっています。</li> </ul> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数の増加に対する小中学校の教育環境の整備が必要です。</li> </ul> <p>（取組内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南流山地区及びおおたかの森地区における新設小学校の通学区域の方針を年度内に決定します。</li> <li>・ICT教育推進のため、市内小中学校におけるICT教育環境をさらに充実させます。</li> </ul>

確かな学力の育成 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

**小学校英語活動推進事業** 小学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。

担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	52,039		49,637	226	54,682	0	54,682
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
小学校A L T配置数(人)	8	8	9	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるA L T等の活用状況(%)		87.5	—	90.0
英語活動指導員の指導時間の合計(時間)	9,730	9,758	10,500					

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手(ALT)を7名、英語活動指導員を18名雇用し、全小学校に配置しました。</li> <li>・学級担任と効果的なチームティーチングを行えるよう、英語活動指導員スーパーバイザーを中心とした研修体制を構築しました。</li> <li>・学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語の教科化及び新学習指導要領の全面実施に伴う研修を充実させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手(ALT)を8名、英語活動指導員を21名雇用して全小学校に配置し、小学校3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整えます。</li> <li>・学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語の教科化及び新学習指導要領全面実施に伴う研修を充実させます。</li> <li>・外国語担当者及び英語活動指導員、外国語指導助手(ALT)の研修を年複数回実施します。</li> </ul>

中学校A L T配置事業	外国語指導助手(ALT)を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	36,277		36,433	79,254	36,285	0	36,285
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
中学校A L T配置数(人)	9	9	9	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるA L T等の活用状況(%)		88.9	—	80.0

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手(ALT)を9名、中学校全校に配置しました。</li> <li>・コミュニケーション能力を総合的に育成するため、生徒が日常的に英語に触れる機会の充実を図ることができました。</li> <li>・チームティーチングによる授業作りを推進するとともに、新学習指導要領の全面実施に伴う研修を充実させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手(ALT)を9名、中学校全校に配置します。</li> <li>・生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。</li> <li>・ICTの活用や、チームティーチングによる授業作りを推進するとともに、新学習指導要領全面実施に伴う研修を充実させます。</li> </ul>

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校(小学校2校または1校、中学校1校)とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	7,361		5,807	5,632	7,513	4,876	2,637
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市内各中学校区本部設置数(校)	9	9	9	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)		42,199	43,357	45,000

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小中学校に地域学校協働本部を立ち上げ、コーディネーターを配置し活動しました。</li> <li>・ボランティアによる活動は新型コロナウイルス感染症対策のため日数が減少したが、昨年度までの学習支援、行事支援、奉仕作業などの活動に加え、消毒作業等学校と地域が連携し、工夫した活動を実施することができました。</li> <li>・今後も研修会を通して各本部の活動事例を共有しながら推進を図っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度中に、コミュニティスクールを2中学校区で設置します。</li> <li>・令和3年度に開校する小学校のコーディネーター配置の準備。</li> <li>・コミュニティスクール設置に向けて、どのような手順で進めていくべきか、また、設置後の運用計画立案・実施のより良い支援が課題です。</li> </ul>

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



確かな学力の育成 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	18,169		15,154	57,253	17,860	0	17,860
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	3.1	2.2	2.1	小学校図書貸出冊数(11月)(冊)		19,488	23,980	24,000
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館司書を昨年度の8名から12名に増員しました。</li> <li>経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置したことにより、各学校間での情報共有ができました。</li> <li>学校図書館司書が配置されたことにより、各学校で読書活動が推進されました。</li> <li>文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館司書を1名増員して13名としました。</li> <li>各学校間での情報共有、経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置しました。</li> <li>文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				

中学校教育指導運営事業	生徒の読書教育推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	11,822		10,147	40,895	12,535	0	12,535
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	3.1	1.8	1.8	中学校図書貸出冊数(11月)(冊)		925	1,017	1,200
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館司書を昨年度の8名から12名に増員しました。</li> <li>経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置したことにより、各学校間での情報共有ができました。</li> <li>学校図書館司書が配置されたことにより、各学校で読書活動が推進されました。</li> <li>文部科学省の努力目標である「1.5人に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館司書を1名増員して13名としました。</li> <li>各学校間での情報共有、経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置しました。</li> <li>文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				

教育環境の整備 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

南流山中学校移転先用地・建物買取事業	南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	新規	0		0	3,507	231,157	178,724	52,433
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
用地取得率(%)	-	-	0					
建物取得率(%)	-	-	30					
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				(現状) 売買交渉は総務部財産活用課が窓口となっています。 (課題・取組内容) 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。				

南流山中学校移転事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を東洋学園大学旧校舎へ移転する整備を進めます。令和2年度 設計 令和3年度 設計 令和4年度 設計・改造工事 令和5年度 改造工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	新規	0		5,453	7,013	154,562	154,144	418
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
設計業務の進捗率(%)	-	1	80					
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 設計業務委託を令和4年度までの継続事業として契約締結しました。 (評価) 設計業者をプロポーザル方式により選定しました。 (改善点) 関係者との協議を継続して進めていく必要があります。				(現状) 設計業務請負者に指示し、基本設計の策定を進めています。 (課題) 基本設計・実施設計の策定が必要です。 (取組内容) 関係者との協議を継続して進捗を管理します。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

担任サポート教員配置事業	学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	新規	0		0	701	64,415	0	64,415
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
担任サポート教員配置数(人)	-	-	19					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				(現状と課題) 各学校の学級数を見定め、文部科学省の35人学級を注視しながら、適正に人員配置に努めてまいります。 (取組) 文部科学省の35人学級の通知から、予算編成時(令和2年度中)と状況が変わってきていることから、今後の対応を柔軟に行う必要があります。				

新設中学校(大畔地区)備品整備事業	令和4年4月に開校を予定しているおおぐろの森中学校に必要な教育備品(校具用、各教科用)を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	新規	0		0	0	260,000	100,000	160,000
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
教育委員会関係部署との打合せ回数(回)	-	-	12	備品の充実割合(%)		-	-	100
入札不調件数(件)	-	-	0					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため、記載なし。				(現状と課題) 多くの備品購入することから、入札等スケジュール管理を徹底し、教育委員会内での齟齬がないように適宜共有していく必要があります。 (取組) 教育委員会内で結成された新設中学校開校準備プロジェクトチームで適格に情報共有していきます。				

新設中学校(大畔地区)整備事業	令和4年4月に開校を予定している大畔地区新設中学校に必要な教材消耗品(各教科用、保健用、施設用)等を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	新規	0		0	0	28,685	0	28,685
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
入札件数(件)	-	-	9	消耗品の充実割合(%)		-	-	100
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				令和4年4月の大畔地区新設中学校開校に向け、必要な教材消耗品等の整備を行います。学校教育課と協同して、入札を実施します。				

学校施設建設支援事業	児童数の増加に対応するための学校施設建設等事業のうち、南流山中学校の移転、(仮称)市野谷小学校の新設について、経験豊富な建築技師や土木技師を有する民間企業に業務の支援を委託します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	新規	40,000		39,600	7,013	40,000	0	40,000
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
支援業務の進捗率(%)	-	25	50					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 発注者、支援業務受注者及び設計業務受託者間で、打ち合わせを密に行い、事業に遅延が生じないように管理する必要があります。 (評価) コロナ禍において、リモート会議も導入して進捗を管理しました。 (改善点) 当初計画に無い事業への柔軟な対応が必要です。				(現状) 支援を受ける事業の他に、令和4年4月におおぐろの森中学校の開校を控える他、南流山中学校の小学校仕様化等の検討が必要です。 (課題) 令和6年度の、南流山中学校の移転開校、(仮称)第二南流山小学校の開校、(仮称)市野谷小学校の開校が急務となっており、厳しいスケジュール管理が必要です。 (取組内容) 引き続き綿密な協議による情報共有に努めていきます。				

I C T 学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他 I C T 機器を整備します。令和3年度 G I G A スクール構想業務委託、タブレット端末整備 等 令和4年度 システム管理・運営 令和5年度 システム管理・運営							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	拡充	127,800		136,099	8,208	432,751	0	432,751
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	994	16,858	18,158	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		10.0	0.97	1.00
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・主な取り組みとして、流山市GIGAスクール構想の実現のために、児童生徒用タブレット端末(16,858台)の整備及び、令和3年度開校するおおぐろの森小学校を含めた全ての小中学校に校内無線LANの構築を行いました。 ・令和3年度からタブレット端末を活用した授業が展開されることに伴う、タブレット端末の管理や保守、教職員の研修、学校への支援、校務系ネットワーク及びシステムの構築について、4月から稼働できるよう業務委託契約を交わしました。 ・本事業の指標である「市内児童・生徒用コンピュータ数」が児童生徒1人あたり1台になりました。				・児童生徒の増加に伴うタブレット端末の管理や整備、教職員の I C T 活用技術の向上、学校からの故障などの問い合わせ等については、業務委託で対応していきます。 ・校務系ネットワーク及び校務支援システムについては、令和4年度から本格稼働できるよう、9月頃からモデル校にて実証を行い、運用方法や課題について詳細を確認していきます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

新設小学校（大畔地区）整備事業		令和3年4月に開校をした大畔地区新設小学校に不足した教材消耗品等を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	新規	19,000			15,884	3,506	2,847	0	2,847
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
入札件数(件)		-	9	-	消耗品の充実割合(%)		-	88	100
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
令和3年4月に開校する大畔地区新設小学校の開校にあたり必要な教材消耗品等を整備するため、学校教育課と協同して9件の入札を行いました。					令和3年4月の大畔地区新設小学校の開校後に、不足があった教材消耗品等を整備します。開校後、不足している教材消耗品等を的確に把握することが求められると考えています。学校と連携を密に取り、状況把握に努めることで、教育現場の充実を図ります。				

新設小学校（大畔地区）備品整備事業		令和3年4月に開校を予定している大畔地区の新設小学校に必要な教育備品を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	新規	227,079			173,000	3,506	4,751	0	4,751
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
教育委員会関係部署との打合せ回数(回)		-	12	12	備品の充実割合(%)		-	98	100
入札不調件数(件)		-	1	0					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組) 備品の種類ごとに入札を行い備品購入を行いました。 (評価) 必要な備品を予算内に購入し、適正に事務を行っている。 (改善点) 入札不調があったので、予算編成段階での仕様書の精査が必要となります。					(現状と課題) 令和2年度において、整備必要な備品購入を100%できなかったため、不足分の購入を行います。 (取組) 不足とならないようおおぐろの森小学校と十分協議を行い、適正に備品購入を行います。				

八木北小学校校舎等建設事業		八木北小学校の児童数増加により、教室が不足することから、令和2年度に校舎増築を終えました。併せて既存校舎の改修を令和元年度からの継続事業として実施します。また、給食室・屋内運動場(体育館)についても、児童数増加に対応するための増築工事を令和2年度からの継続事業として実施します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	1,135,288			1,325,045	21,039	10,820	7,700	3,120
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
校舎増築工事の進捗率(%)		37	100	-					
既存校舎改修工事の進捗率(%)		1	95	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 発注者、監理者、施工者、学校との調整を実施しました。 (評価) 増築工事が完成し、校舎への引っ越しを夏休み中に実施し、2学期から使用することができました。 (改善点) 引き続き、校舎改修工事、給食室増築工事及び屋内運動場増築工事を実施するため、関係者間の協議、調整を行っていく必要があります。					(現状) 給食室増築工事及び屋内運動場増築工事が始まります。 (課題) 工事を計画的に進めるために、工程管理及び安全管理への配慮が必要になります。 (取組内容) 安全面及び工程管理について、関係者間での協議、調整を実施します。				

新設小学校建設事業		土地区画整理事業の影響による、おおたかの森小学校区及び小山小学校区の児童増加に対応するため、令和3年4月に「おおぐろの森小学校」を開校します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	3,629,900			2,494,616	21,039	15,724	15,724	0
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
造成工事の進捗率(%)		83	100	-					
建設工事の進捗率(%)		12	98	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 工期の短縮に向けて、作業と同時進行で工事関係者と協議を重ねました。 (評価) 開校までに校舎は完成しましたが、外構工事に遅れが生じました。 (改善点) 最短で外構工事を終えるよう、工事関係者との調整を実施しました。					(現状) 令和3年4月3日に学校新設を祝う会を実施して開校しました。 (課題) 引き続き、外構工事は続きますので、児童には不便をおかけしています。 (取組内容) 屋外授業は一時的にスポーツフィールドを利用していただきながら、安全を確保しつつ工事を進めます。				

新設中学校建設事業		おおぐろの森小学校の開校及び、小山小学校の児童数増加により、進学先となる中学校の需要増に対応するため、令和4年4月の開校に向けて、おおぐろの森中学校の建設を進めます。令和3年度 建設工事							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	2,471,255			1,253,338	14,026	4,700,667	4,694,291	6,376
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
造成工事の進捗率(%)		25	100	-					
建設工事の進捗率(%)		-	15	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 安全面、工程管理において、近接するおおぐろの森小学校建設工事と調整を図りました。 (評価) おおぐろの森小学校とは建設事業者が異なりますが、十分な調整を図れました。 (改善点) 令和4年4月の開校に向けて、効果的に工期を短縮する必要があります。					(現状) 工程表に基づき工事を進めています。 (課題) 令和4年4月の開校に支障のないように工事を進める必要があります。 (取組内容) 工期の短縮に向けて、工事関係者と具体的な対策について協議を行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

給食室等改修事業		長崎小学校の給食室を建替えて、児童数増加に対応するとともに、流山小学校及び八木中学校の調理室へのエアコン設置並びに、八木北小学校の給食室増築工事を、令和2年度からの継続事業として実施します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	57,629			61,303	14,026	9,059	0	9,059
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
長崎小学校調理場建替え工事の進捗率(%)		-	-	100	調理場への空調設備整備率(%)		9	23	41
八木北小学校給食室増築工事の進捗率(%)		-	-	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 長崎小学校給食室建替えに係る基本・実施設計を実施しました。八木南小学校及び南流山中学校の給食室にエアコンを設置しました。 (評価) 毎年度計画的に実施しているエアコン設置について、給食のない夏休み中に設置することができました。 (改善点) 長崎小学校の給食室の建替え及び八木北小学校の給食室増築について、令和4年度供用開始することから、工事が遅れないよう工程管理を行っていく必要があります。					(現状) 長崎小学校の給食室の建替え工事、八木北小学校の給食室増築工事、流山小学校及び八木中学校給食室エアコン設置工事を実施します。 (課題) 令和4年度の供用開始に支障がないよう、工事を進める必要があります。 (取組内容) 発注者、監理者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施します。				

新設小学校(おおたかの森地区)建設事業		おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に(仮称)市野谷小学校の建設を進めます。(令和3年度設計、令和4年度設計・建設工事/令和5年度建設工事)							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	51,057			13,478	3,507	99,990	99,990	0
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
設計業務の進捗率(%)		-	10	60					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 児童や市民参加型のワークショップを開催しました。 (評価) 広い分野から意見をいただくことができました。 (改善点) 今後の事業展開に意見を反映していきます。					(現状) 設計業務請負者に指示し、基本計画の策定を進めています。 (課題) 基本設計・実施設計の策定が必要です。造成工事については、区画整理施行者との協議が必要です。 (取組) 関係者との協議を継続して進捗を管理します。				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

子ども専用いじめホットライン相談事業		いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTOP it」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	6,680			6,680	3,498	6,875	0	6,875
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)		12	14	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		82.6	91.8	100
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)		23	29	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		79.0	56.2	100
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
子ども専用いじめホットライン相談窓口の周知のため、連絡先が記載されたカードとA4サイズのリーフレットを市内全小・中学生に配付しました。中学生が利用できる、いじめ相談報告アプリへの相談件数が増えているため、アプリ相談は中学生のニーズにあった相談ツールと捉えています。今後も、相談窓口の周知を図ります。					コロナ禍により、子どもたちの不安や悩みの内容は変化し相談事業の必要性が高まっていると捉えています。引き続き、相談窓口の積極的な周知に努め、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、タブレット端末の活用により相談がしやすい環境を整えます。				

いじめ等防止対策推進事業		いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにハイパーQ U(学級集団アセスメント)検査を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	18,582			20,274	35,065	23,260	0	23,260
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
小学校いじめ認知件数(2月まで)(件)		3,003	3,037	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		82.6	91.8	100
中学校いじめ認知件数(2月まで)(件)		466	315	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		79.0	56.2	100
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら、いじめ、児童虐待などに迅速に対応しました。 ・評価 児童生徒向けにいじめ防止授業や、教員向けにいじめ防止研修を実施するなど、いじめに対する理解を促進させ、未然防止のための取り組みを実施しました。 ・改善点 スクールロイヤーの訪問授業や教員研修を計画的に実施し、いじめに対する理解をますます深めていきます。					(現状) スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーを配置し、いじめ、不登校、児童虐待などに迅速に対応しています。児童生徒の安全・安心な学校生活を送れるよう、ハイパーQU(学級集団アセスメント)検査を実施しています。 (課題) いじめの未然防止に努める必要があります。 (取組内容) スクールロイヤーなどによるいじめ防止授業を各学校で実施します。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

学校サポート看護師派遣事業		小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため、2名の看護師を配置します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	継続	18,234			19,203	3,735	24,769	0	24,769
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学校サポート看護師人数(人)		10	10	10	養護教諭による学年学級への指導時間数(時間)		127	127	130
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の実績・課題・取組み				
<p>・取組内容 小・中学校において病気を怪我している児童生徒の医療的救急処置をはじめ、健康のチェックや個別にかかわることが望ましい児童生徒の補助、生活習慣に関する援助・助言を中心に取り組みました。</p> <p>・評価 校外学習や出張等で養護教諭が不在の時に、保健室を開けられることは児童生徒にとって安心感を与えられました。医療的ケアを要する児童生徒に個別で補助することができました。</p> <p>・改善点 保健室を運営する上での養護教諭とサポート看護師の方向性が一致できるように計画をしっかりと立てていきたいと思っております。</p>					<p>・現状 昨年度同様、児童生徒に対して医療的応急処置をはじめ、児童生徒の補助、生活習慣に関する援助助言を行っています。</p> <p>・課題 サポート看護師を要請する時期が各校で重なることが多くなり、希望通りにいかないことがあります。</p> <p>・取組内容 毎学期、サポート看護師の連絡会議を設け、取り組みや状況について報告を聞いています。市内の医療的なケアを要する児童のサポート看護師を対象とした研修会を設定し、誰もが応急処置をできるようにしています。養護教諭が主体となって、サポート看護師との打ち合わせを綿密に行っています。</p>				
学校給食施設管理事業		学校給食調理業務に必要な消耗品や備品を整備するとともに、給食設備の点検・清掃及び害虫駆除等を行うことにより、安定的な給食の提供と衛生管理の徹底を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	継続	111,517			93,295	3,682	118,236	0	118,236
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
給食設備・機器の点検実施回数(回)		289	275	286	学校給食における食中毒発件数(件)		0	0	0
施設・設備の清掃等実施回数(回)		123	121	121	保健所巡回による1校当たりの衛生管理指導事項数(件)		4	-	-
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の実績・課題・取組み				
<p>学校給食調理業務に必要な消耗品や備品を整備するとともに、給食施設の点検・清掃を実施しました。また、害虫駆除業務を専門業者への委託により実施し、衛生環境の徹底を図りました。</p>					<p>老朽化した食器等の給食関係の消耗品や備品の整備を行い、安心・安全な学校給食の提供と衛生管理に努めます。</p>				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。